

寺院：福島県第3教区第86番安養寺
 住所：福島県伊達郡国見町高城北13

<p>寺院の被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震により、本堂、庫裡が半壊し、山門が一部損壊した。 ・境内の土木構造物にも被害が生じている。
<p>寺院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・檀信徒の離散が心配である。精神的にも肉体的にも疲労している。 ・境内に自生する筍、ふきのとう、梅、蒔は食べられなくなった。 ・放射能汚染の被害があるが、行政の除染は進んでいない。
<p>檀信徒の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・震災で自宅に住めなくなった方や、放射能汚染の影響を受けている檀信徒がいる。 ・檀信徒の若い家族は他県に避難し、遠距離通勤しているケースがある。また、地元に残って生活している家族も食物の規制などで負担が大きい。 ・被災した檀信徒は、家屋、塀等の復旧工事も進みつつあるが、原発事故による放射能被害は深刻である。 ・放射能汚染により、農作物の出荷停止。米作・果樹等の耕作土や果木の除染等、負担の大きい作業と精神的苦悩が大であり、肉体的・精神的疲労とストレスを抱えている檀信徒が多い。家庭内においても若年夫婦は地元産の農作物を食べない等の経済的負担もさることながら、家庭内の亀裂も生じている。
<p>地域の現状</p>	<p>—</p>
<p>復興の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5割程度復旧が進んだ。 ・檀信徒も罹災していることもあり、全面復旧は目指さず、内外に筋交を取り付ける等の応急的な復旧工事に留め、本格的な改修は時期を待ちたい。 ・町の方針で、H25～27年度中に境内の除染をする計画がある。

(H25. 9. 18 現在)



本堂の内外には筋交が取り付けられている。山門の土台修理や庫裡の2階部分をトタン屋根にする等、様々な改修が必要となった。(撮影日不明)